

授業科目名	音楽療法の技能 I	担当 形態	講義		
		開講 学期	秋学期		
担当教員	猪狩 裕史	単位	2	年次	1

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

1. 音楽療法に必要な曲のレパートリーを広げ、様々な曲の弾き歌いができるようにする。
2. ギターの基本的な知識と技術を習得する。
3. ピアノ伴奏の練習をし、実践現場での柔軟性のある対応が少しずつできるような基礎力を身につける。
4. コードネームについて学び、コードネームを見ながら伴奏が弾けるようにする。
5. 音楽療法でよく用いられる歌曲について調べ、自分の習った曲、自分の年代の人に親しまれている曲以外の曲や音楽についての知識を広める、その知識が実践現場で役立てることができるようにする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

- ・ 各自で自主練習をして授業に臨むこと。
- ・ 順番を決め、一学期中に一人が数回ずつグループ歌唱の伴奏をして、合図を出し、弾き歌いをしながら歌唱をリードする。
- ・ 体調不良や家庭の事情で欠席する場合は、授業開始までにメールか電話にて連絡を入れること。欠席した場合は、前の授業で何が配布されたかを他の受講生に聞いて確認し、その資料を担当教員のところまで取りに来ること。

### ＝授業の概要＝

これは、日本音楽療法学会で認定する音楽療法士（補）受験資格を取得するために必要な実技科目である。主専攻以外の学生が取得する場合は、音楽療法について学ぶ意欲を持っていること。また、音楽療法総論も履修していることが望ましい。

### ＝授業計画＝

- 1回 シラバスを用いての授業内容の説明、楽器庫の確認、ギターの弾き方の基礎を学ぶ。
- 2回 ギターの弾き方の基礎を学ぶ、民謡練習、コードネーム
- 3回 ギターの弾き方の基礎を学ぶ、民謡練習、コードネーム
- 4回 ギター、キーボード弾き歌い練習、民謡練習、コードネーム、歌唱
- 5回 民謡テスト、ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、歌唱、弾き歌いで歌唱をリード
- 6回 ギター弾き歌いテスト1、ピアノ弾き歌いテスト1、ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、弾き歌いで歌唱をリード
- 7回 コードネームテスト、ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、弾き歌いで歌唱をリード
- 8回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 9回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 10回 ギター弾き歌いテスト2、ピアノ弾き歌いテスト2、ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 11回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 12回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 13回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 14回 曲調べ課題発表、提出、ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 15回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いで歌唱をリード
- 16回 （試験期間中）ギター弾き歌いテスト3、ピアノ弾き歌いテスト3

## **=テキスト（必携）=**

《No.1》

書籍名：音楽療法の必須100曲 高齢者編

著者名：菅田文子

出版社：あおぞら音楽社

《No.2》

書籍名：音楽療法の必須100曲 子ども編

著者名：菅田文子

出版社：あおぞら音楽社

《No.3》

書籍名：開放弦でできる実践ギター・セラピー

著者名：吉田豊

出版社：あおぞら音楽社

## **=参考書・参考資料（必携）=**

### **=成績評価の方法と評価の基準=**

民謡テスト10%、ピアノ弾き歌いテスト10%×3、ギター弾き歌いテスト10%×3、コードネームテスト10%、課題発表と提出10%、授業態度10%

- ・ 学期中の弾き歌いテストについては、不合格の場合には、次の週に再試をする。
- ・ 無断の欠席は総合点より2%、無断の遅刻は総合点より1%の減点となる。課題提出の遅れは遅れる一日毎に1%の減点となる。

これらの点数を合計し、90点以上はS、80点～90点未満はA、70～80点未満はB、60～70点未満はC、60点未満はDとなる。

### **=その他=**